

令和4年度

定期監査結果報告書

南伊勢町

1. 監査実施年月日及び監査対象

実施日 場所	時 間	対 象 課	項 目
2月2日 (木) 南勢庁舎 委員会室	9:00～9:50	教育委員会 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ■GIGA スクール事業について ■新型コロナウイルス感染症における学校教育対策について ■学校統廃合の進捗状況について
	10:00～10:50	まちづくり 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ■若者定住対策関係事業の進捗状況について ■新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金事業について
	11:00～11:50	防災安全課	<ul style="list-style-type: none"> ■木造住宅耐震診断・補強・リフォーム・除却事業の進捗状況について ■防災公園整備計画の進捗状況について ■地域防災計画策定業務の進捗状況について
	13:00～13:50	税務住民課	<ul style="list-style-type: none"> ■マイナンバーカードの発行状況について ■地方税の徴収状況について
	14:15～16:00	子育て・福祉 課	<ul style="list-style-type: none"> ■統合保育所建設事業の進捗状況について (14時15分から現地調査) ■新型コロナウイルスワクチン接種について (南勢庁舎委員会室)
2月3日 (金) 南勢庁舎 委員会室	9:00～9:50	観光商工課	<ul style="list-style-type: none"> ■地域活性化企業人について ■ふるさと納税について ■プレミアム付商品券事業について
	10:00～10:50	管財契約課	<ul style="list-style-type: none"> ■町営住宅の管理状況について
	11:00～11:50	環境生活課	<ul style="list-style-type: none"> ■収集運搬、焼却処理、最終処分等について ■資源物品売り払い収入について ■不燃物運搬処理委託料について
	13:30～14:20	建設課	<ul style="list-style-type: none"> ■国道 260 号の工事の進捗状況について (現地調査)
	14:50～16:30	水産農林課	<ul style="list-style-type: none"> ■繁殖牛貸し付け事業について (現地調査) ■新型コロナウイルス感染症における水産農林業対策について (南勢庁舎委員会室) ■新規就業者の受入状況について (南勢庁舎委員会室)

2. 監査の種別

地方自治法第 199 条第 4 項の規定に基づく定期監査。なお、行政監査の視点に立った監査も併せて実施した。

3. 監査の方法

事前に提出された資料に基づき、質疑応答方式により実施した。

4. 監査の主眼

監査基準第 1 章一般基準第 2 条第 1 号財務監査及び第 2 号行政監査にある監査等の範囲及び目的を主眼として、各課の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が適正に行われているか、最小の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか、安全管理の体制は万全か、補助金は適正に執行されているかについて実施した。

5. 監査の結果

監査対象に対する監査の結果は下記の指摘及び意見のとおりである。

なお、監査時に気づいたことは、その都度口頭で担当課長等に指摘し、改善を指示した。

(1) 教育委員会事務局

- ▶ GIGA スクール事業は、一人一台のタブレットが行きわたり、各校の教育 ICT 環境が整備されていた。主体的・対話的で深い学びの実施を、今後とも効果的に行うよう求めた。
- ▶ 昨年度から続くコロナ禍における学校教育は、各学校の実状にあった独自のマニュアルを作成し対応している。適時、消毒がされており対策が行われていることを再確認した。引き続き感染拡大防止の取組を行うことにより、安全で安心な教育環境づくりを推進されたい。
- ▶ 学校統廃合進捗状況については、中間答申として令和 9 年 4 月を目安とする新校舎完成を待って統合するということを確認した。今後とも、統廃合にかかる児童生徒、保護者への負担が軽減されるよう推進されたい。

(2) まちづくり推進課

- ▶ 若者定住対策に関する課題にさまざまな施策で横断的に取り組み、実績・成果の拡大に努めている。関係部局との連携強化を図り、移住定住対策を一層進められたい。
- ▶ 新型コロナウイルス対応臨時交付金については、コロナ禍での住民生活や経済対策など、地域の実情に応じたさまざまな事業がなされている。今後とも関係部局と連携し、住民生活や地域経済を支援されたい。

(3) 防災安全課

- ▶ 木造住宅耐震関連補助金については、除却事業を希望する申請者が増加していることを確認し、補助金は適正に執行されていた。
- ▶ 防災公園整備計画の進捗状況については、三重県及び奈屋浦漁港関係者との協議の上、防災機能を発揮する公園整備計画を進めるよう要請した。
- ▶ 地域防災計画策定業務は、国の制度変更や基準変更を確実に反映し、今後とも町民が安心して暮らせる指針となるための改訂が進められていた。

(4) 税務住民課

- ▶ マイナンバーカードの発行業務については、休日窓口対応や各地区に会場を設け、住民サービスに努めた。12 月末現在のカード申請率 64.63%、カード交付率は 53% と昨年比べ格段に増加した。今後予定されている運転免許証との一体化など、今後の町民への利便性の周知・啓発に努めるよう要請した。
- ▶ 町税全体の収入調定は昨年度の実績により減少したが、その理由の主なものとして、全体的な課税対象者の減少によるものであることを確認し

た。引き続き収納率の向上及び滞納額の減少に努められたい。

(5) 子育て・福祉課

- ▶ 統合保育所建設事業は計画どおりの進捗を確認し、予定通り令和5年4月1日の開園であることを確認した。
- ▶ 新型コロナウイルスワクチン接種については、接種予約枠が令和5年2月4日で終了し、県下でも高い接種率であることを確認した。今後、感染症法上の類型が変更されても、安全安心な日常生活につながるよう、効率的かつ適正な対応を求めた。

(6) 観光商工課

- ▶ 地域活性化企業人は町内製品の把握や事業者との交流、意見交換を行い、町内外の関係機関等と連携し、新たな商品開発や販路拡大に貢献していることを確認した。
- ▶ ふるさと納税額は令和4年12月時点で昨年対比87.9%となった。今後とも関係市町との連携を図り、返礼品の充実や受入れサイトの効果的な活用など、適正な運用を図るよう要請した。
- ▶ プレミアム付商品券事業については、換金実績も96.12%と高く、コロナ禍における町内の消費喚起策として、また、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援として、一定の効果があつたことを確認した。

(7) 管財契約課

- ▶ 町営住宅の管理については、概ね予定通り進捗していた。耐震性のない住宅の取り壊しも含め、効率的な運営を要請した。

(8) 環境生活課

- ▶ ごみ収集運搬については、鳥羽志勢広域連合への加入に向け、可燃ごみを含め、粗大ごみ等の高齢者に配慮したごみ出し・回収方法への対応など、住民の負担をできるだけ軽減する方法を検討するよう求めた。
- ▶ 資源物品の売払い方法及びその収入について、引き続き適正に処理することを求めた。また、不燃物収集運搬処理委託料については、収集物が多岐にわたり、回収範囲が町内全域に及ぶことから、安全で、効率的かつ確実な業務を行うよう求めた。

(9) 建設課

- ▶ 国道260号道路改良事業は、船越工区、東宮工区ともに計画通りの進捗を確認するとともに、今後の計画についても、全区間の早期改良実現への取組強化を要請した。

(10) 水産農林課

- ▶ 繁殖牛貸付事業については、昨年度、課題であった担い手の問題も現在は1名の新規就農者が確保されており、安定していることを確認した。

令和 5 年度には実証実験を終了し、新たな任意団体を支援するという
ことで、今後も中長期的な視点に立った行政の支援を要請した。

- ▶ 新型コロナウイルス感染症における農林水産業対策として、水稻次期作
支援をはじめ、養殖共済、免税軽油費補填対策、農林水産物移動販売事
業等を行い、負担を軽減している。今後とも育成・販売サイクルを正常
に戻すため、引き続き総合的な支援について要請した。
- ▶ 新規就業者受入状況について、農業では経営開始型 1 名がイチゴ農家と
して農業者となることを目指し、また、地域おこし協力隊としてミカン
農家 1 名、繁殖牛事業 1 名が就農し、漁業では後継者等育成事業補助金
を利用し鯛養殖業に 1 名が就業し、いずれの就業者も順調に活動してい
ることを確認した。

6. 意見

令和 4 年度については、各課とも補助金は適正に執行されており、事業
計画についてもほぼ計画どおり進捗している。

また新型コロナウイルス感染症対策として、国の地方創生臨時交付金を
活用し、町内一次産業、観光業、商工業、町民への支援などを行った。

今後とも、諸経費の削減に努め交付金を有効に活用するなど、町民サー
ビスの向上に繋げていくよう要望した。